

AOI

七沢リハビリ



医療法人社団葵会

AOI七沢リハビリテーション病院 広報誌

第7号（令和2年1月16日発行）

新年あけましておめでとうございます！
今年もどうぞよろしくお願いたします。

NEWS

人工透析を要する患者様の受入れ体制も整えました！！

イベント紹介

① 令和元年12月25日、クリスマス会を開催させていただきました。



当院有志による生演奏、ご好評をいただきました！！

② 来る令和2年1月29日、第2回目のお茶会を開催予定です。

③ 12月16日より、コンビニのワゴン販売を始めました！！



各部署からのお知らせ

◎放射線室

放射線検査室に備える、医療機器をご紹介します。

装置製造メーカー自社比で、最大約75%の被曝を低減する機能などを搭載した、16列マルチスライスCT（コンピュータ断層撮影装置）を導入しています。

厚さ最小 1 mmで撮影した横断層画像を、高分解能アルゴリズムで再構成させた高分解能CT（HRCT）や、一回の撮影で胸部から腹部までを撮影できる機能などを備えています。

胸部レントゲンや骨などのX線撮影を行う一般撮影X線診療室では、デジタルラジオグラフィシステム（DR）を導入しています。

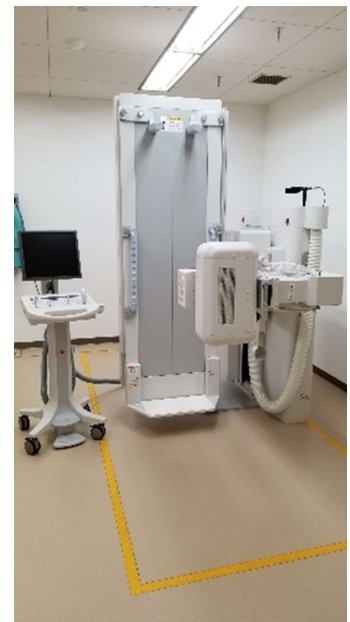
今までのX線フィルムやCR（コンピュータX線撮影）に比べ、高画質で低被曝の撮影が可能となり、撮影部位によっては、X線フィルムより被曝の少ないCRと比べても、最大約半分のX線照射量での撮影が可能となりました。

X線透視室には、FPD（フラットパネルディテクター）を採用したデジタルシステム透視装置を導入しています。従来のI・I（イメージインテンシファイヤ）方式に比べると、高画質で低被曝を実現しています。

その透視装置では、例えば、摂食障害・嚥下障害が疑われる患者様に対して、バリウム造影剤を混ぜた、いろいろな食べ物や飲み物を撮っているところを、口から喉にかけて、少ないX線照射量で透視をしながら観察する、嚥下造影検査を行っています。

喉に異常は無いのか、食べ物が喉に残らないか、誤嚥をしないかなどの症状や病態を確認し、普通に食べるよりも刻んだ食べ物や、トロミをつけた飲み物が良いのか、背もたれの角度をつけて食事をした方が良いのかなどの安全な摂食方法、そして、誤嚥や喉に食べ物が残らないような訓練や治療法に、その検査結果を反映させています。

このように、被曝リスクの低減に努めた医療機器を備え、地域医療に貢献できるよう医療活動を行っておりますので、よろしくお願いいたします。



（診療放射線技師 坂西）